

## 第55回企画委員会の開催

3月1日(火)に第55回企画委員会がリモートで開催されました。出席者は、事務局を含め22名でした。アジェンダは、以下の通りでした。

《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 施策提言WGの活動状況報告
3. HPCロードマップWGの活動状況報告
4. HPCIコンソーシアムの活動状況報告
5. 日経BP社からの記事掲載要請について
6. 関連団体からのイベント協力要請について
7. 人材育成WGの活動状況報告
8. コミュニティ活動状況報告

## 人材育成WGの開催

3月2日(水)に人材育成WGがリモートで開催されました。出席者は、事務局を含め、18名でした。前回WGに引き続き、産応協が考える人材育成の在り方について意見交換を行いました。委員の共通的な意見としては、産業界としてはスーパーコンピューティング技術を用いて結果を出したい訳で、アプリケーション・ソフトウェアの開発やチューニングに工数を割きたくない、従って産業界の考える人材育成は、アプリケーション開発やチューニングができる人材を育てることでは無いのではないか、ということで意見が集約しました。但し、産応協のメンバーも全ての業種、業態をカバーしている訳ではないので、人材開発についての意見を広く求めるため、アンケート調査を実施することに決定しました。

## HPCロードマップWGの開催

3月3日(木)にHPCロードマップWGがリモートで開催されました。出席者は、事務局を含め19名でした。今回は、2022年度の活動計画(案)の確認と、先に実施したアンケート結果を基にした、ロードマップ資料の「次期フラッグシップシステムへの期待」のページの再整理について意見交換が行われました。

## ものづくりワークショップWGの開催

3月9日(水)にもものづくりワークショップのWGがリモートで開催されました。出席者は、事務局を含め5名でした。今回は、東京大学の奥田先生にもご出席頂き、現時点でのベンチマークテスト参加予定者と今後の見込について、確認されました。現時点でベンチマークテストに参加を予定されている方は7名で、今後奥田先生の研究室からも参加されるとのことでした。また、ベンチマークテスト結果の纏め方、次回ワークショップ(6月3日開催予定)のアジェン

ダについて話し合われました。

## 産応協スクールの開催

3月10日（木）に産応協スクールがリモートで開催されました。今回は、産応協にとって「富岳」を用いた初のハンズオン実習を伴うスクールでしたので、産応協会員にクローズした参加者募集となりました。タイトルは『「富岳」を用いたOpenFOAM講習会』で、7名の参加者が集まりました。

今回は、「富岳」を利用するということで、理化学研究所計算科学研究センター様、計算科学振興財団様との共催という形で、講師はみずほリサーチ&テクノロジーズ様をお願いしました。Webinarによるハンズオン実習は、理解を深めるのはなかなか困難を伴いますが、今回はみずほリサーチ&テクノロジーズ様がかなり詳細なマニュアルを作成頂き、説明もかなり細かに実施いただいたので、完全なハンズオン実習は時間的な制限もあり無理だったとは思いますが、スクール終了後にも一定期間「富岳」のIDが使えるので、受講者は改めて終了後にマニュアルを見ながら実習ができ、理解が深まったものと思われま

《プログラム》

- |                          |                    |       |
|--------------------------|--------------------|-------|
| ・ 講演：OpenFOAMの概要と最新事例の紹介 | みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) | 高山 務氏 |
| ・ 富岳体験セミナー「単相流解析」        | みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) | 高山 務氏 |
| ・ 富岳体験セミナー「二相流解析」        | みずほリサーチ&テクノロジーズ(株) | 高山 務氏 |

## 産応協セミナーWGの開催

3月16日（水）に産応協セミナーWGがリモートで開催されました。参加者は、事務局を含めて7名でした。今回は、2月22日、24日に開催された産応協セミナーの振り返り（アンケート結果の共有）と、次回セミナーに向けてのテーマの検討を行いました。

## 主査会（2022年度事業計画検討会）の開催

3月22日（火）に主査会（2022年度事業計画検討会）がリモートで開催されました。当日の参加者は、事務局を含め12名でした。今回は、各WGより2022年度の活動計画案が発表され、意見交換を行いました。今回提示された活動計画を基に、サマライズした全体計画を4月20日開催予定の企画委員会と5月10日開催予定の運営委員会に上程し、承認を得る予定です。

## 第49回コミュニティ委員会の開催

3月30日（水）に第49回コミュニティ委員会がリモートで開催されました。当日の参加者は、事務局を含め15名でした。アジェンダは、以下のとおりでした。

《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 第55回企画委員会議事内容の共有
3. 各WG活動状況及び2022年度活動計画案の報告
  - ・ 人材育成WG
  - ・ 産応協セミナーWG
  - ・ 産応協スクールWG
  - ・ ものづくりワークショップWG
  - ・ 対話交流会WG

#### 4. その他

- ・ 本田技術研究所様より委員交替の連絡がありました。
- ・ 2022年度の各WGの主査及びメンバーの決め方について意見交換がありました。

以 上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】  
住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階  
電話：03-3435-5425 E-Mail：[icscp\\_office@icscp.jp](mailto:icscp_office@icscp.jp)  
担当：中川，滝口

#### 《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

